



楽しくて力のつく学校  
石部小学校 校報 第117号  
平成31(2019)年1月17日

TEL:77-2030  
FAX:77-6733

校長 柘植 幸隆



年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます



いよいよ平成最後の年、平成31年がスタートしました。昨年は、石部小学校児童のために保護者・地域の皆様にご多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。本年もどうぞ引き続き、ご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、今年の元旦は、年末の寒波が少し和らぎ、比較的穏やかな天候で迎えることができました。初詣に出かけると、毎年の光景ですが、拜殿前からきちんと整列した列が100m以上続き、二の鳥居を超えて駐車場あたりまで続いていました。改めて日本人の行儀の良さを感じました。神社のどこにも「整列して並びましょう」という張り紙や看板はありませんが、参拝に来られたほとんどのみなさんがきちんと並んでおられました。災害時の配給所前での光景も同じで、日本人の行儀の良さに海外の方々からは賞賛の声が上がっていました。守るべき慣習だと思います。

ところで昨年末、改正出入国管理法が成立し、これから益々外国籍の方々が増え、外国籍児童の転入も増えてくると思います。その中で、日本人の良さを活かしながら、また外国籍の方々の考え方も尊重しながら生活していかなければなりません。これから更に国際化が進んでいく中で、子どもたちにどんな力をつけていかなければならないのか。新しい元号が始まる今年、良いスタートの年だと思います。

国際化するわち外国語の習得だけでは無いと思います。これも大切なことだとは思いますが、その前に身につけておかなければならないことがあると思います。それは、「相手のことを思いやる心」であり、「表現力」であり、「対話力」だと思います。これらの力が必ず必要であり、この力は国際化に対応する力だけではなく、これからの時代を生きていくためになくてはならない力だと改めて考えさせられたお正月でした。

## 『平成30年度 学校評価（保護者評価）結果について』 (回収率83.4%)

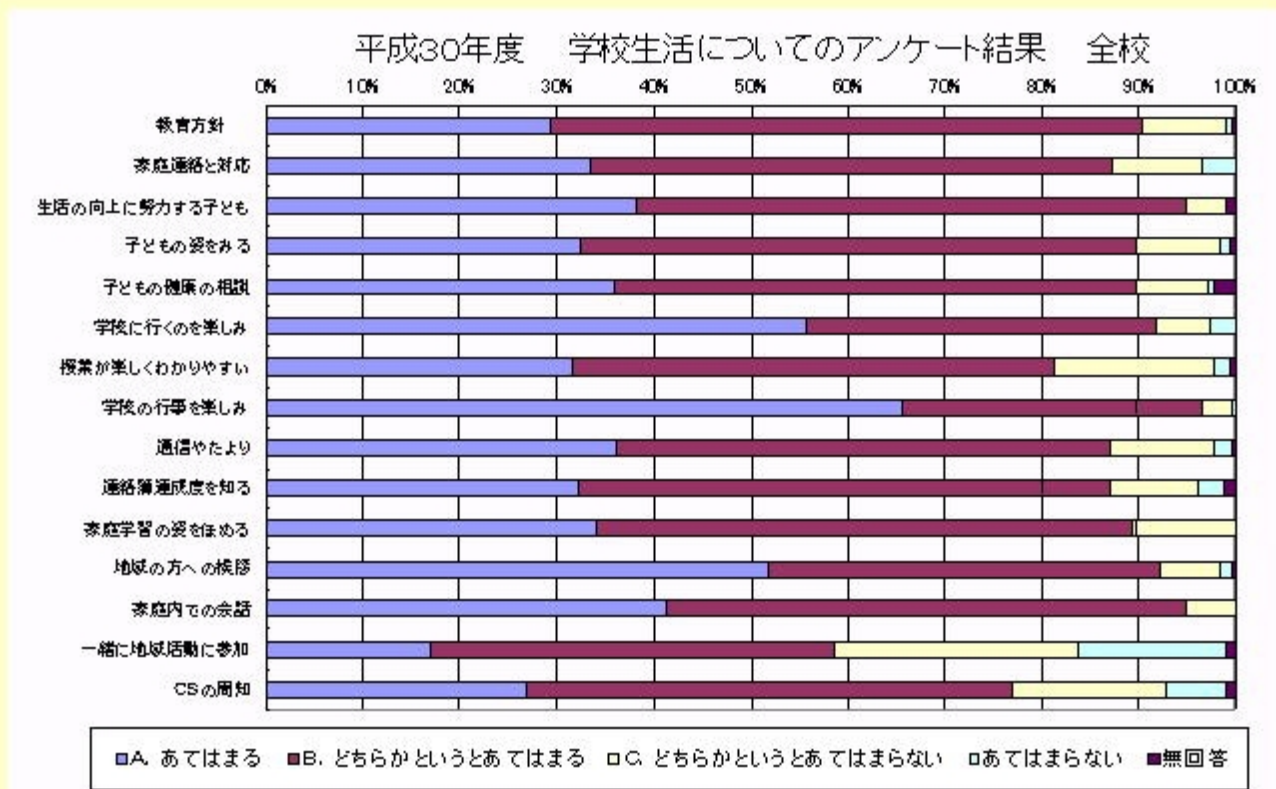
今年度も保護者の皆様のご協力を得て実施いたしました学校評価の結果が出ましたので、お知らせいたします。例年どおり「どちらかといえばあてはまる」までが80%以上あれば肯定的評価をさせていただいているものと考えています。

今年度は、アンケートの回収率が昨年度に比べ約6%低くなり、少し悪くなってしまったのが残念です。今後は、より多くの回答をお願いします。

昨年度、80%に満たなかった項目は、「子どもと一緒に地域活動に参加している」「コミュニティ・スクール(CS)の取り組みを知っている」でした。今年度も昨年度と同じような傾向の結果が出ました。しかし、どちらも昨年度よりは良くなっており、「地域活動への参加」は、約6%も上がりました。来年度以降も引き続き上昇できる

ように取り組んでいきたいと考えています。

他の項目については、「通信やたより」以外の項目は、全て上昇しています。結局昨年度より低くなったのは「通信やたより」だけで、これも約0.2%下がっただけでした。これであれば誤差の範囲内であると考えられます。また、特に評価が高かったのは、「子どもたちは学校の行事を楽しみにしている」の項目で96.9%もの評価をいただきました。95%以上の項目が3個もあり、昨年度1個もなかったことと比べると大きな進歩です。できるだけ早く全項目が80%以上になるようにしていきます。来年度もこのような形で保護者の皆様から評価いただけるように石部小学校職員一同頑張っ取り組んでいきますので、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



## 5・5交流を行いました！

1月15日(火)、寒さが厳しい中、4月から新入生として石部小学校へ入学してくる保育園、幼稚園の5才児と5年生児童が、1年生の学習や運動などの体験活動をしました。始めは緊張していた5才児も優しく教えてくれる5年生に安心して楽しく交流を行いました。5年生も6年生になった気分で学校生活で行う学習や絵本の読み聞かせを丁寧に一生懸命教えることができました。



「絵本の読み聞かせ」



「マット運動の練習」



「算数や国語の勉強」